

市数研だより

令和3年1月19日発行 NO. 3 熊本市中学校数学教育研究会

1月の定例会が1月14日（木）に三和中学校で行われました。今回もZOOM配信により、県大会に向けた授業づくりを行いました。

1. あいさつ

市数研会長（三和中学校 出崎校長先生）

明けましておめでとうございます。当初は11月の定例会のような開催を考えていましたが、今思うと甘かったなと感じています。今現在、我々を取り巻く状況は一段と厳しくなっています。この状況下で定例会を開催するか悩みました。しかし先ほど、校長室にあいさつに来られた市数研役員の先生方のやる気に満ちた表情に元気をもらい、開催してよかったと実感しました。



この会に参加することが義務でもない中でご参加いただけることを、大変ありがたくそして心強く思ったところです。市数研役員や市数研の方々の、やる気や魅力、人を引き付ける力は、なかなかの感染力を持っていると感じます。今回ZOOMを通じてではありますが、ぜひ積極的に意見交流をし、お互いの数学力を高めていただきたいと思います。

2. ブロック別検討

今回もそれぞれのブロックに分かれて、責任者の先生を中心に、ZOOMを活用しながら指導案検討を行いました。



※今後の事前研は、基本的に行わないこととなりました。コロナ禍が落ち着き、実施できる状況になりましたら、事務局よりその旨を連絡いたします。

3. まとめ

◎熊本大学 吉村先生より

今回の授業検討会も、ICTの使い方の議論がよくなされていきました。こういったことが全国に広がってほしいと思っています。

2月5日に「E.フォーラム」という研究会が行われます。西岡加名恵先生、石井英真先生といった、京都大学でパフォーマンス課題の研究をされている方々によるフォーラムです。ZOOMで参加でき、ネットでもすぐ検索が可能で、「第11回 算数・数学教育におけるICT活用」と題して行われます。ICT活用がはじまって約30年、これからどのように活用していくのかディスカッションされますので、興味のあられる先生方はぜひご参加ください。今後ともよろしくお願いいたします。



◎市数研副会長 錦ヶ丘中学校 田口校長先生

どの部会も興味深い授業づくりに取り組まれていることを実感しました。身近なところにたくさんの数学があることを感じるとともに、確実に研究を進めていただけていることに感謝いたします。

改めまして市数研の会員みなさま、明けましておめでとうございます。本日はZOOMによる定例会となりましたが、ご参加いただきありがとうございました。



令和3年度の熊本県数学研究大会は、11月19日（金）と決定しております。現在コロナ禍により、予断を許さない状況にありますが、今できる研究を1歩1歩着実に進めていければと考えています。新しい生活様式を模索しながらの教育活動を実践しなければなりません、数学教育の本質は変わりません。研究主題「数学的な見方考え方を働かせ、深い学びに向かう生徒の育成」これも揺るぎないものです。ぜひ会員の先生方の真摯で情熱を持った、そして熱い研究を通して研究主題に迫っていければと思います。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

5. お知らせ

次回の定例会は、**2月18日(木)19時～**

会場や実施方法については、改めてご連絡いたします。

今後、各ブロックで事前研をする場合は飽田中学校の越地先生までご連絡ください。

ご質問やご感想がありましたら、下記のアドレスまでお願いします。

shiiba.masahiro@kumamoto-kmm.ed.jp

- ・定例会へ多数の先生方のご参加をお願いします！！
- ・各学校から1名以上の参加をぜひともお願いします！！
- ・特に若手の先生方、遠慮せずに参加して、市数研の底上げを図っていきましょう。主任の先生方、呼びかけをよろしくお願いします。

文責 湖東中学校 宮本 晃利